

5. 人間科学部

【 現状説明 】

本学部は、学部理念・教育目標とそれに伴う人材養成について、「神奈川大学人間科学部規程」で、「人間の心身と人間社会に対する多角的・総合的指向を涵養し、人間環境の質の向上と、健康で心豊かな生活を保障する社会の確立に貢献できる人材を育成することを目的とする」と定めている。

こうした学部理念・教育目標は、日本社会を含む現代社会の複雑化、多様化の進展に伴う諸課題に対する研究上、教育上の「使命」にもとづくものであり、人材養成の目的も、これらの諸課題を解決するための理解力と洞察力を有し、その技術を有する人材の育成においている。本学部では、これらの理念・目標を実現するため、社会を構成する「人間」に着目し、人間の「こころ」や「からだ」の発達を知り、人間の形成する「社会」を理解することに重点をおいた専門的かつ総合的な教育研究を行っている。

本学部・学科の理念や教育目標を周知するために、大学の開催するオープンキャンパスでの模擬授業や、高校との連携事業（出張講義）などに対する要請に積極的に対応している。また、インターネットによる情報公開も実施しており、本学部のホームページ（<http://www.hs.kanagawa-u.ac.jp>）において、学部の目的やコースの紹介、カリキュラムや教員の紹介、学部紀要のダウンロードなど、様々な情報を公開している。

学生に対する周知は、入学時のガイダンスや必修科目である「人間科学概論」などで説明すると共に、履修要覧、シラバスでも行っている。

【 点検・評価 】

本学部は、2006年に新たに開設され、まだ完成年次に達していないため、全体的な評価は時期尚早である。しかし、上記の学部教育の理念や目標は、現代社会の要請に合致した適切なものであったと考えている。それは、1学年300名という定員に対して、毎年3,000人前後の志望者数があることから明らかであろう（06年度3,802人、07年度2,958人、08年度2,727人）。（大学基準協会基礎データ 表13）

また、一般入試の合格水準も本学において上位の位置を占めている。これらのことから学生の受け入れでは、学部教育の理念・目標は概ね適切であると判断している。

学部の理念や目的の周知に関しては、オープンキャンパスなどの大学全体のイベントにあわせ積極的に活動を行っているが、特にインターネットによる情報公開は本学部の情報を公開する上で大きな効果を発揮している。1日の平均アクセス数は150～200前後であり、1年間（2007年8月～2008年7月）の閲覧数の合計は約55,000に達している。このインターネットによる公開は在学生も利用しており、内外にわたる周知方法として有効であると考えている。

【 改善方策 】

上述のとおり、完成年次に達していないため学部理念・教育目標についての全体的な評価は時期尚早であるが、今後の改善方策について、その方向性を述べておく。

- (1) 2008年11月に本学部におけるFD活動の基本方針を定め、組織的な活動を開始した。その中で理念・目標等について現状に即して本格的な点検・評価を行う。
- (2) インターネットによる学部理念・教育目標等の情報公開は一定の効果を上げていると考えているが、今後は、学部ホームページに対するアクセスをより詳細に分析し、ページ閲覧者がどのような情報を求めているのかを把握することで、より効果的な情報提供を行う。